

平成30年度 全国学力・学習状況調査の結果と今後の取組について

糸島市立南風小学校

1 結果と分析

(1) 全国学力調査

【 国語 】

- 考えをまとめたり，文章構成を考えたりするなどの書く力が身に付いている。
- 日常生活で使われる漢字の意味を理解して，使うことに課題がある。

【 算数 】

- 「数と計算」「図形」に関する技能が十分に身に付いている。
- 資料を分類・整理する問題に課題が見られる。

【 理科 】

- 2つの異なる方法の実験結果を分析して考察する力が身に付いている。
- 科学的な言葉や概念，実験の技能を問う問題に課題がある。

2 取組についての評価

(1) 効果があった取組

- ・ 全校での授業改善の推進（書く時間5分以上，交流活動15分以上の確保）
- ・ 地域人材を活用した基礎・基本の定着を図る。「みなかぜ寺子屋」の実施
- ・ 4・5・6年生を対象にしたコース別学習「みかなぜ塾」の充実
（金曜日の6校時の時間活用，低学年担任・指導方法工夫改善教員・担外の活用）
- ・ 給食前及び昼休みを活用した個別指導

(2) 改善を図る点

- ・ 資料を分類・整理する学習の充実
（複数の情報の収集・整理・考察する活動を単元計画へ位置づける。）
- ・ 漢字や語句の意味理解につながる指導の充実
（教科書の言語事項に関する指導を学年共同で教材研究を行う。）

(3) 今後の学力，学習習慣の向上に対する取組

- ・ 問題データベースを活用した習熟タイムや家庭学習のプリントの見直し
- ・ 目的や意図に応じた書き方の指導の充実
- ・ 評価テストの余剰時間を活用した認知機能強化トレーニング（コグトレ）の実施